

三年学年だより

No. 5

8月号

令和5年7月発行

304HR

～勉強する理由を考えよう～

最近、一人の芸能人にいい印象を覚えました。タレント兼ミュージシャン・あのちゃん。たまたま目にしたテレビで、「若いねー」との声掛けに、「“若い”でまとめないでください」と天邪鬼(あまのじゃく)の役で返答するCMで初めて彼女を知りました。最初はそれほどの印象は無かったのですが、印象が変わったのは今年の6月中旬でした。テレビ局主催のYouTubeで、あのちゃんが子どもからの質問に答えたという記事を見つけたときです。“勉強する意味が分からないのでやりたくないです。何でやらないといけないんですか？”との質問に、以下のように答えています。

「やらないといけないってことはないと思いますけどねえ。でも勉強ができないと大人になって、圧倒的にバカにされる数は増えます。そして世の中の事が何も分からないので生きづらいです。それがイヤなら今のうちに勉強しとくと楽だと思います。あとは自由です。任せます。」

(引用：YouTubeチャンネル「動画、はじめてみました【テレビ朝日公式】」)

さて、君たちはなぜ勉強するのですか？ バカにされないため、志望校に合格するため、勉強すると褒めてもらえるため……結論は人それぞれでいいでしょう。“勉強する必要はない”と考える人は、勉強しなくていいと思います。本当に「あとは自由です。任せます。」です。私の場合、勉強した理由は「周りの多くの友達が勉強していて、おいていかれたくなかったから。」「点数が取れる勉強をしないと、大学に受からない(教員にもなれない)から。」でした。“勉強しないといけない理由”がドーンとありました。

皆さんが私と同じ理由である必要はありません。しかし、“自分自身が納得する勉強の理由か。そして努力しているか。”が大切です。勉強は楽なものではなく、ちょっと勉強した程度ですぐ得点上がるものでもありません。工夫と継続が必要です。“30分で”と言われた課題を、得意分野だから20分で終わらせて他の課題に当てたり、苦手分野だからじっくり考えて40分かけてもいいと判断したり……これらが工夫の一つで、それを長く続ける継続力が必要です。個人的には、「自分らしい工夫と継続の方法を見つける＝勉強」と考えています。ぜひ自分らしい工夫と継続の方法を見つけてください。これができると、大人になって圧倒的に評価される数が増えるはずですよ。

そういえば、最近になって“勉強しといてよかった”と思うことが増えました。8歳と5歳の息子2人が、漢字の書き順や計算問題、国名や気象現象、そして英単語に関して次から次へと「パパー、これは？」と問いかけてきます。「おおっと！うん、ギリギリまだ分かる！」とドキドキしながら答えて、父親としての威厳を保っている日々です。勉強が大切だと感じる機会は、大人になってからの方が多いかもしれません。何なら、大人になった今でも勉強している気がします。高校生も大人も勉強を続けるべきだと思います。素敵な大人として評価されますように。いや、今、素敵な人として評価されますように。(304HR担任)

3年生の1学期もうすぐ終わります。今年の夏休みは自分が希望する進路を叶えるため、今まで以上に真剣に取り組まなければなりません。思うようにはかどらず、諦めてしまいそうになることもあるかもしれませんが、けれども続けていけば、幼い頃突然自転車に乗れたように、今まで苦戦していた勉強の視界が突然開けてくる時が来ます。自分のペースやコツがつかめたら、そこからは効率よく勉強が進んでいくと思います。わからなかったことがわかるようになる、できなかったことができるようになるのは、学ぶことの楽しさ・喜びです。何年後かに今を振り返って、「あの時頑張ったな。」と思えるような夏にしてくださいね。

前に進めるのは、できる人ではありません。やると決めた人ですよ。

(304HR副担任)